

事業所名		おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート				公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動内容によってテーブルや座位保持等の場所を変え、スペースを確保している。	学校休業日の際は同じ時間に多くの児童が集まるため、活動スペースを分ける等の工夫をして十分なスペースが確保できるように努めて参ります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	法令で定められている人員配置をしています。	要介助児の数より、職員数が少ない事がある(食事時等)ため、人員の追加配置を検討していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			配慮に努めるも充分でないところもある。必要に応じて職員が児童の補助に入り対応させていただいております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃、消毒を行い、事業所内を清潔に保てるよう努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		排泄介助や着替え、または児童が不穏な状態になった時等、個別の部屋へ行き支援にあたっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	4	定期的に会議を実施し、業務の見直し、改善に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表のみではなく、日々送迎時等にお話しを聞いている。	評価表による貴重なご意見を日々の業務に活かせるよう、職員間で共有し、改善につなげてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	日々情報共有を行い、定期的に支援会議を行っている。	職員との個別面談の頻度を多くできるように検討していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		現在、第三者による評価を実施できていないため、検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に法人全体での研修や、事業所内での研修を行っている。	外部の研修にも参加できるように検討していく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、ホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		6ヶ月に一度必ず面談を行い、ニーズや課題をお伺いし、個別支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	支援会議を行い、課題等を抽出し、計画に反映させ、作成した計画を共有している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画を確認し、児童の支援にあたっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	発達検査の結果や、御家族から日常の話を伺い把握しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」が含まれる個別支援計画を作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	担当者が中心となり、話し合いを行い立案しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		毎月担当者を中心として話し合いを行い、季節の行事や制作等を取り入れています。	職員を増員し、外出できる機会を増やしていく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	児童にとって必要なことを把握し、個別活動と集団活動を組み合わせ支援している。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	4	食事介助、送迎担当等、その日の役割分担を職員全員が把握できるようにしている。	支援開始前に時間が足らず、情報を全て共有できていない時があるため、ホワイトボードやノートを活用して改善していく。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4		帰りの送迎に時間がかかってしまっているため、その都度個別では伝えているが、職員全員への発信はできていない。職員を増やす等して改善していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援終了後は記録を記入し、児童の様子を職員間で共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に一度モニタリングを実施し、個別支援計画書の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		地域交流の部分が現状できていない。事故や感染防止に配慮し、交流していけるよう検討する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		発語が難しい児童でも、ジェスチャーや時にはタブレットを使用し、意思表示が出来るように努めている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	必要に応じて相談支援事業所と連携を取り、情報共有していきます。頂いた情報などは職員に連携し関係期間と連携できるように今後も努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校送迎時に先生との情報共有を行ったり、学校からの電話、メールを確認して対応している。	いただいた連絡に関して早急に対応できるように努めている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	必要に応じて相談支援事業所と連携を取り、情報共有していきます。頂いた情報などは職員に連携し他事業所と連携できるように今後も努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		情報を提供しています。相談支援専門員の方がいる場合は相談員の方とも連携を取れるようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		児童発達支援センターと連携が図れていないため、今後研修等に参加していけるように検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		肢体不自由の児童が多い為、なかなか交流することが出来ない。今後地域の活動等に参加出来るように検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	事業所連絡会等に参加させていただいています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々リトムや電話、ご自宅への送迎時などに情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		ご相談やアドバイス等は個別でさせていただいていますが、研修会等も出来るように検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		ご契約の際に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談を行う際に必ず御家族や児童の意思や意向を伺い、それに沿って支援内容を決めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画を示しながら説明し、同意を得てサインをいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時やお電話等で相談があった場合は速やかに対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		年に一度保護者会を開催しています。	保護者会のみ開催させていただきましたが、今後は御兄弟等も参加できる会を開催できるように検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		管理者を窓口として、職員間で情報共有し適切に対応できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		季節毎に通信を発行し、活動の様子を確認していただいています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報に関して、鍵付き書庫に保管をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童の特性に合わせた対応を心がけています。	発語がない児童であっても、指差しやジェスチャー、タブレット等も使用し意思表示が出来るように支援していく。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		保護者様の意向に沿って開催を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルは全て策定し、保管してあります。	マニュアル等が保護者の方にも周知できるよう工夫していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画を策定しそれに沿った訓練をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		アセスメントの際に服薬や発作等の確認を行い、何か変更があった際は随時情報を更新しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		医師の指示書に基づくものではありませんが、御家族にアセスメント時に伺ったアレルギーに関しては、アレルギー一覧表を掲示し対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画を作成し、玄関に掲示しています。	全てのご家族に周知できていない可能性があるため説明をしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		定期的に会議を行い、共有と再確認を行っています。	故防止、再発防止に努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に虐待防止研修を事業所内で行っています。	外部の研修にも参加できるように検討していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束(座位保持や車いす等)を行う児童に関しては、個別支援計画に記載をし、御家族に説明、了承を得て行っています。	